

第 3 回 群馬地域審議会

総合計画前期実施計画事業に係る質疑

事業名	No	質疑	回答
北谷遺跡保存整備事業	1	公有地化のための買収準備作業はどのような現状か。	平成23年度に国庫補助事業によって保存管理計画書を策定した。次の段階は、史跡指定地の公有地化となるので、現在は、資料収集などを行っている段階である。
	2	保存管理計画書記載の整備事業の進め方のモデルに対する全体スケジュール（概略）はあるのか。	保存管理計画書に掲載している整備事業の進め方は、一般的な遺跡整備のスケジュールである。北谷遺跡の具体的な整備スケジュールに関しては、今後の整備計画が決まっていない段階なので、まだ未定である。
	3	平成25年度以降の発掘、復元等の計画はどのような構想であるか。保存事業は何年程度かかる予定なのか。どのような景観の史跡整備となるのか。予算はどのくらいの規模となるのか。該当地権者の賛同は得られているのか。	<p>史跡地の多くは現在私有地であるため、今後の計画としては、公有地化が第一段階となり、その後、発掘調査へ進むことになる。これらの事業は国の補助を受けて進めていく予定なので、国の財政状況によってかなり変動することが予想されるため、現段階で何年かかるかは未定であるが、10年単位での長期的な事業になると考えている。</p> <p>整備後の景観については、発掘調査後に整備計画を策定する段階で検討する予定であり、予算も同様であるので、現段階では、はっきりしたことは決まってい（次項へ続く）</p>

北谷遺跡保存整備事業			<p>(前項の続き)</p> <p>ない。地権者の賛同について、史跡指定地内においては、史跡指定の同意は得ているが、整備については用地買収を伴うので、その段階で用地交渉を行うことになる。</p>
	4	<p>国指定の史跡文化財なので道路に北谷遺跡を示す案内表示板を設置していただきたい。</p> <p>北谷遺跡居館跡に、説明板が設置されているが、今後の史跡整備事業の記載がない。資料等を掲示できる掲示板を設置し、史跡の内容や文化財の価値が分かる資料や発掘写真等を展示すると訪問者に喜ばれるのではないか。</p>	<p>本格的な整備を開始していないので道路に案内看板を設置するのはまだ早いと考えているが、整備が進んだ段階で必要な時に対応したい。</p> <p>説明板の内容についても、発掘調査や整備が進めば新たな情報を更に盛り込めると考えている。</p>
	5	<p>復元整備する時間を考えると、相当時間がかかると思われる。その間、かみつけの里博物館での常設展示を充実させ、また、三ツ寺 I 遺跡とリンクさせて古墳時代の豪族の居館としての存在の P R をしたらどうか。三ツ寺 I 遺跡復元模型と同じようにビジュアル的に訴え、市民に興味とその重要性の理解を先に得た方が得策ではないか。今のままの状態で駐車場や看板、トイレ等を整備しただけでは遺跡の状況やロマンを育む場所とはならないと思われる。</p>	<p>かみつけの里博物館の常設展示室にパネルを追加して北谷遺跡と三ツ寺 I 遺跡の関係を説明しているが、充実した内容となるように工夫したい。</p> <p>保存管理計画策定時に、専門委員会からは将来的な復元的整備（石垣や建物の復元等）を目指すべきとの意見を頂いている。これについても、発掘調査の結果によって方向性が左右される部分もあるので、よく検討したい。</p>

北谷遺跡保存整備事業	6	保渡田古墳群、北谷遺跡、上野国分寺史跡などを巡るルートを総合的に捉え、歴史文化ゾーンとして観光誘客までを実現させるべく、考古学の専門家だけではなく、関係各部門や市民とともに考え、推し進めてはいかがか。	ご提案のルートは専門家のみならず群馬県を訪れる人にとっても魅力的な古代体感エリアになると考えている。保渡田古墳群や国分寺跡などは、既に観光パンフレットや広報誌などで取り上げられているが、これらの取り組みを継続・充実させていきたい。また各遺跡において、ボランティアグループが立ち上がっているので、団体間の連携も必要になってくるであろうし、県の東国文化事業とも連携することが必要と考えている。
	7	上野国分寺跡は、県教育委員会による南大門復元に向けた発掘調査が今年9月に開始された。遅れている北谷遺跡保存整備事業の早期着工により、種々の情報が得られ、保渡田古墳群との係わりや上野国分寺跡との関連等の解明が進み、歴史・文化ゾーンの位置付けが更に高められる。将来的には、北谷遺跡、上野国分寺跡と保渡田古墳群の3遺跡を中核とした歴史・文化の観光施策を通じて地域づくりを推進し、その実現を図ることを望む。よって北谷遺跡保存整備事業の早期着工を要望する。	市としても北谷遺跡整備事業の重要性は充分認識しているので、他の史跡整備事業の進捗状況を勘案しながら進めていきたい。
群馬中央第二土地区画整理事業	1	平成24年度当初の事業内容のうち、前回報告書と件数の合計に差がある理由は何か。	第2回地域審議会が開催された平成24年7月9日の時点で報告した数字は、平成24年度の国の補助金の内示前に因る件数であった。今回報告の件数は、平(次項へ続く)

群馬中央第二土地区画整理事業			(前項の続き) 成24年度の国の補助金の内示により事業費が決定し、この事業費に基づく事業投資効果の優先順位や地権者との合意事項等で、工事、委託、補償の件数が確定された。以上のことから件数に差が生じている。
菅谷高畑土地区画整理事業	1	平成24年度当初の予定件数と、前回報告書との差は何故か。	第2回地域審議会が開催された平成24年7月9日の時点で報告した数字は、平成24年度の国の補助金の内示前に因る件数であった。今回報告の件数は、平成24年度の国の補助金の内示により事業費が決定し、この事業費に基づく事業投資効果の優先順位や地権者との合意事項等で、工事、委託、補償の件数が確定された。以上のことから件数に差が生じている。
上水道管網整備事業	1	既設配管網において、漏水等の発生不具合の現状はどうか。また、その点検確認方法は適正か。	交通荷重や振動などが原因で、老朽化している水道管（石綿セメント管等）の直管部の破損や継手部からの漏水事故が多く発生している。 高崎市水道局では、全市域を12ブロックに分けて計画的な漏水調査（委託事業、給水管：時間積分式漏水判別調査、配水管：路面音聴調査）を実施している。群馬地域においては平成22年度において実施した結果、32箇所で漏水の報告があった。当該年度において計画的に修繕した結果、大幅に無効水量が減少した。地上漏水は、目視による確認が可能のため、市民から（次項へ続く）

上水道管網整備事業			<p>(前項の続き)</p> <p>の漏水通報で対応している。緊急時に適切な対応ができるよう、「道路漏水等・緊急対応マニュアル」に基づき、職場研修を実施するなど対応整備を行っている。</p>
汚水管渠整備事業	1	<p>既設の下水管渠の保守管理の概要はどのようなものか。また、保守管理において、どのような問題点があるか。</p>	<p>スーパーや飲食店などから排水される油脂類のつまりが一番の問題点である。店が集中しているエリアは定期的（1～2回/年）に管渠内清掃を実施している。また、飲食店の近辺や住宅密集地は、マンホール・管渠内の目視点検を定期的（1～2回/年）に行い、清掃の必要があれば、その都度、実施している。</p> <p>また、管内4箇所に設置されているマンホールポンプ場については、現在、遠隔監視情報システムの導入により、事務所はもとより、担当職員及び維持管理委託業者の携帯電話に情報が送信される為、故障等への迅速な対応が可能となっている。</p> <p>マンホール周辺の凹凸や舗装のつながりを原因とする騒音や振動に対する苦情が寄せられている。舗装補修等により軽減はできたが解消はなかなか難しい状況である。</p>

報告事項の質疑

事業名	No	質疑	回答
平成23年度高崎市決算の概要について	1	特別会計の国民健康保険事業について、歳入と歳出の差が22億円程度あるが、前年度以前も同程度の金額の差が出ているのか。余らせているようにも思われるがいかがか。	平成22年度についても同程度の金額である。例えば、インフルエンザの流行等によって左右される数字である。
			毎年多額の黒字になるのであれば国民健康保険税の引き下げを検討する必要があるかもしれないが、制度の変更等で変動する金額であるので、今後の様子を見ていきたい。

その他の質疑

内容区分	No	質疑	回答
高崎市等広域消防局群馬分署の移転改築計画について	1	群馬分署は老朽化が著しい。また、現在の立地場所は、時間帯によって交通渋滞が生じる道路に面している。移転して機能強化を図る考えがあるのか。	群馬分署は、昭和47年3月に竣工し、以来約40年が経過している。分署は旧耐震施設であることその他、県道水沢足門線に面し交差点に近いことや周辺地域の都市化の進展等から交通渋滞が激しく、緊急出場時に支障をきたすことが頻繁にある状況であると認識している。これらの状況から、移転を伴う建替えによる機能強化を始め、現在、関係部局と協議中である。
国府公民館の改築工事について	1	国府公民館の改築工事の内容及び期間はどのようなものか。また、耐震化についてはどうか。	国府公民館の改修工事に伴う耐震診断については、平成22年度に実施し、問題なしとの結果が出ている。主な改修内容としては、調理室や図書室の設置を考えている。工事の実施は、全市域の公民館改修事業の中で順次進めていきたいと考えている。
菅谷引間線の整備について	1	菅谷中央線の開通により交通量が増え、また、イオンモール高崎やヤマダ電機出店による渋滞が予想される。このような状況を踏まえ、菅谷引間線も交通安全等の面からも早期の事業実施が必要と考えるが、予定はどうか。	菅谷引間線は、高崎渋川バイパスの東側に南北に平行して計画されている都市計画道路で、前橋安中富岡線から北に向かい西毛広域幹線道路と交差し、さらに前橋中里線までを結ぶ幅員17m、延長1,200mの都市計画道路である。現在、イオンモール高崎も盛況であり、今後、ヤマダ電機の出店や周辺の土地利用の変化も含め、この地域が将来的にどのように交通状況が変化するか事業化に向けては充分見極める必 (次項へ続く)

菅谷引間線の整備について			<p>(前項の続き)</p> <p>要があると考えている。</p> <p>菅谷引間線は、高崎渋川バイパスを補完する補助幹線的な役割をもつ路線でもあることから、今後の交通量等の変化をみながら、検討していきたいと考えている。</p>
独居老人について	1	<p>独居老人の現状把握を適時行い、訪問など生活のフォローを強化すべきではないか。</p>	<p>高齢者が安心して生活できるよう、孤独死をゼロにする事業を行う。</p> <p>高齢者のみの世帯や1人暮らしの世帯は、民生委員や区長等によって、声かけ等を実施しているが、マンションや遠隔地など手の届きにくい範囲もある。そこで、高齢者の面倒を見たり、ケアする家族のない高齢者世帯の家に、センサーを設置し、10時間以上トイレの使用形跡が無かった場合、あらかじめ指定しておいた方や、また、必要に応じて消防署に連絡が入るシステムを今年度配置する予定である。</p>
市民活動センター「ソシアス」について	1	<p>開館より半年が経過したが、どのような利用状況か。また、問題点等はあるか。</p>	<p>開館当初は、群馬地域の団体利用が主であったが、駐車場が充実していることや利用しやすい料金体系という利便性から、見学者も多く、順調に利用者数が伸びている。</p> <p>開館以来半年を経過したが、利用団体から様々な要望が出されている。要望内容によっては、その都度対(次項へ続く)</p>

市民活動センター「ソシアス」について			(前項の続き) 応できるものには積極的に改善等を実施し、利用者のニーズに添った対応に取り組んでいる。
道路整備について	1	高崎・渋川線は、歩道が狭く、縁石もある場所と無い場所があつて歩きにくい。子どもや高齢者等交通弱者の立場で道路整備を考えていただきたい。人に優しい街づくりを足元から見直し、今よりも住みやすい高崎、住みたい高崎になるよう願う。	ご指摘とおり主要地方道高崎・渋川線は非常に交通量の多い県道である。道路も側溝や歩道部に老朽化している箇所があるため、高崎市（群馬支所）として群馬県高崎土木事務所に対し、改修等を依頼し、部分的工事は適宜実施している。側溝については、路面の排水を受けるだけでなく、個人宅の排水等も受けているため、道路脇に設置することが管理上また経済的にも望ましいと考える。 人に優しい街づくりを行うため、自転車歩行者道等の整備は必要と考えるが、関係地権者の協力も必要であり、なかなか難しい一面もある。人が歩きやすい道作りを行うため、グレーチングは細目を使う等の工夫を今後検討していきたい。
休耕地の活用について	1	休耕地が増加し、田畑で働く人たちの数が激減している。農地の活用、農業の活発化、就労機会の創造等を、 (次項へ続く) (前項の続き) 行政やJA、地域で一体となって考える機会を創っていただきたい。	休耕地や農業の後継者不足の原因は、農業が職業として成り立ちにくいといった問題点が挙げられる。 この問題に対しては、高崎の農産物が相応しい評価を受けて多くの需要があることが必要だと思っている。新たな手法として、日本最大級のウェブサイトである「ぐるなび」を運営するIT企業と組み、高崎の (次項へ続く)

休耕地の活用について			<p>(前項の続き)</p> <p>3 つの J A と協力して高崎の農産物を首都圏で多数売 るための働きかけを行っている。</p> <p>また 1 年半後に、高崎スマートインターチェンジが オープンする予定であり、その一番良い場所で高崎の 農産物の販売を行う構想を持っている。</p>
金古代官所跡の保存につい て	1	<p>地域の住民として代官所跡を保存していくために 何か応援や協力をしていくことができないか、指導し ていただきたい。</p>	<p>金古代官所（神保家）は個人所有の建物なので、保 存等は基本的に所有者が行うことになるが、表門は、 群馬町の時代に重要文化財に指定しており、市の助成 制度を活用できる。主屋は未指定の物件であるが、市 の文化財調査委員には建築の専門家などもいるので、 助言を受けるなどの対応は可能であると思う。</p>
高崎市を舞台とする映画や ドラマの制作について	1	<p>高崎を舞台に、日本人の持つ思いやりや優しさを題材 にしたドラマか映画を、映画監督の山田洋次さんに作っ ていただきたい。高崎にはその材料として、小栗上野介 の話がある。群馬県人の惻隠の情を山田洋次監督に映画 化してもらえば高崎を P R できると思う。</p>	<p>予算はかなりかかると思われる。また、NHK の大 河ドラマで小栗上野介を取り上げていただきたいとい う運動もずいぶんあるが、内容の面から難しいよう である。映画などで高崎を P R したいという思いはあ るが、山田洋次さんという芸術家に頼むのは簡単なこ とではない。映画などで高崎を舞台にするということ は、大変インパクトがあるとは思っているのでチャン スがあれば検討したい。</p>

新幹線高架下の有効活用について	1	JRの新幹線高架下を、行政と民間、地域が一体となって活用する方法が何か見出せないか。高架下の活用に今後スポットを当てるべきと思う。	高崎駅付近の新幹線の高架下に何を造るのかはJR自身が大きな課題にしている。群馬地域の新幹線の高架下については、まだ問題意識がないようであるが、将来的なアイデアはあるのではないかと。
榛名トンネル湧水の小水力発電について	1	新幹線の榛名トンネルからの水の一部を三ツ寺公園に引き込んでいるが、この水を利用した小水力発電等活用ができないか。	榛名トンネル湧水の小水力発電は、すでに具体的検討を行っている。しかし、三ツ寺公園を大事にし、散歩などで公園の風景を楽しんでいる人たちにとって、それがいいのかという問題がある。発電しても、発電量はそれほど多くなく、三ツ寺公園の中の電力が賄える程度である。発電を行うべきか、地元の方の意見をよく伺い、検討していきたい。